

科目名	病理学概論					
分野	専門基礎分野	担当教員	石田 陽子			
開講時期	2学年 1・2学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	60		4			
科目の概要	1年次に解剖学、生理学で学んだ「正常」な状態と比べ、「病気」の状態とはどういうものなのかを学ぶのが病理学である。病気の状態における細胞・組織・臓器の変化を、医学の世界ではどのような方法を用いて調べ、そしてどのような病的変化をもって病気であるとするのか、どのように進行するのかについて、基本的な概念を身につける。					
学習の到達目標	病理学概論では、さまざまな病的状態にはそれを構成する要素があることと、その基本的な部分を理解する。					
成績評価の方法と基準	授業態度、学期末試験により評価する。					
使用テキスト	教科書(病理学概論 改訂第3版)					
参考文献	授業時に適宜指示する					
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	1章 病理学とは					
2	2章 疾病の一般～3章 細胞傷害(退行性病変、代謝障害)①【萎縮】					
3	3章 細胞傷害(退行性病変、代謝障害)②【変性】					
4	3章 細胞傷害(退行性病変、代謝障害)③【代謝障害1】					
5	3章 細胞傷害(退行性病変、代謝障害)④【代謝障害2】					
6	高齢者の障害予防③:高齢者の外傷予防訓練					
7	4章 循環障害②					
8	4章 循環障害③					
9	5章 進行性病変(病的増殖)と細胞・組織の適応①					
10	5章 進行性病変(病的増殖)と細胞・組織の適応②					
11	6章 炎症①					
12	6章 炎症②					
13	6章 炎症③					
14	免疫異常・アレルギー①					
15	総合評価(まとめ)					

16	免疫異常・アレルギー②
17	免疫異常・アレルギー③
18	8章 腫瘍①
19	8章 腫瘍②
20	8章 腫瘍③
21	8章 腫瘍④
22	8章 腫瘍⑤
23	9章 先天性異常①
24	9章 先天性異常②
25	10章 病因①
26	10章 病因②
27	10章 病因③
28	10章 病因④
29	10章 病因⑤
30	総合評価(まとめ)

(2026年度)